

栃木基署発 1024 第 1 号
令和 5 年 10 月 26 日

一般社団法人 佐野労働基準協会
会長 藤波 一博 殿

栃木労働基準監督署長



労働災害急増による緊急レポート周知要請について

時下、ますますの御清栄のこととお慶び申し上げます。

栃木労働基準監督署の業務の推進につきまして、日頃より格別のご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、栃木労働基準監督署管内の令和 5 年における死亡者数については、9 月末日現在 3 人であり、前年同期と同じ人数となっておりますが、休業 4 日以上の死傷者数については 472 人であり、別添 1 のとおり令和 4 年と比較して 70 人 17.4% の増加と、労働災害の増加に歯止めがかからない、極めて憂慮すべき状況にあります。

また、栃木労働局管内 7 署においても、別添 2 のとおり 9 月末現在で当署の増減数 +71 人は群を抜いており、危機的状況にあります。

つきましては、今般、別添 3 のとおり「栃木労働基準監督署長・労働災害発生状況緊急レポート」を作成しましたので、貴団体におかれましては、このような状況を御理解の上、各種労働災害防止対策を徹底するため、会員事業場に対して、「栃木労働基準監督署管内『S+S』運動」の更なる推進のため、周知啓発、指導等を実施されますよう要請いたします。

令和5年 業種別労働災害発生状況

(令和5年 9月末現在)

新型コロナウイルス感染症に関連した件数を除く

栃木労働基準監督署

	令和4年		令和5年		増減数		増減率(%)	構成比(%)
	死傷者	死亡	死傷者	死亡	死傷者	死亡		
全 産 業 計	402	3	472	3	70	0	17.4	100.0
製 造 業 計	123	1	152	1	29	0	23.6	32.2
食 料 品 製 造 業	25		40		15		60.0	8.5
織 維 製 品 製 造 業	1		3		2		200.0	0.6
木 材 木 製 品 製 造 業	4		7		3		75.0	1.5
家 具 装 備 品 製 造 業	1		0		-1		-100.0	0.0
化 学 工 業	13	1	20		7	-1	53.8	4.2
うちプラスチック製品製造業	11	1	10		-1	-1	-9.1	2.1
窯業土石製品製造業	12		8	1	-4	1	-33.3	1.7
金 属 製 品 製 造 業	24		33		9		37.5	7.0
一 般 機 械 器 具 製 造 業	10		6		-4		-40.0	1.3
電 気 機 械 器 具 製 造 業	6		8		2		33.3	1.7
輸 送 用 機 械 器 具 製 造 業	16		13		-3		-18.8	2.8
上 記 以 外 の 製 造 業	11		14		3		27.3	3.0
土 石 採 取 業 ・ 鉱 業	4		8		4		100.0	1.7
建 設 業 計	38		38		0		±0	8.1
土 木 工 事 業	10		12		2		20.0	2.5
建 築 工 事 業	17		19		2		11.8	4.0
うち木造建築工事関連事業	1		4		3		300.0	0.8
そ の 他 の 建 設 業	11		7		-4		-36.4	1.5
交 通 運 輸 業 計	3		2		-1		-33.3	0.4
道 路 貨 物 運 送 ・ 貨 物 取 扱 い 業 計	52	1	65	1	13	0	25.0	13.8
林 業	1		1		0		±0	0.2
農 業 ・ 畜 産 業 ・ 水 産 業	3		8		5		166.7	1.7
第 三 次 産 業 計	178	1	198	1	20	0	11.2	41.9
小 売 業	49	1	46		-3	-1	-6.1	9.7
社 会 福 祉 施 設	27		38		11		40.7	8.1
飲 食 店	18		18		0		±0	3.8

(注) 1. 本表は、労働者死傷病報告に基づく休業4日以上労働災害件数を集計したもの
2. 死亡件数は内数である

令和5年 第三次産業の労働災害発生状況

(令和5年 9月末現在)

新型コロナウイルス感染症に関連した件数を除く

栃木労働基準監督署

	令和4年		令和5年		増減数		増減率(%)	構成比(%)
	死傷者	死亡	死傷者	死亡	死傷者	死亡		
商 業	61	1	65		4	-1	6.6	32.8
各種商品小売	7		9		2		28.6	4.5
新聞販売	9		6		-3		-33.3	3.0
金融広告業	1		1		0		±0	0.5
金融業	1		1		0		±0	0.5
広告・あっせん					0		±0	0.0
映画演劇業			1		1		+∞	0.5
通 信 業	10		8		-2		-20.0	4.0
教 育 研 究 業	4		4		0		±0	2.0
保 健 衛 生 業	38		49		11		28.9	24.7
医療保健業	8		10		2		25.0	5.1
社会福祉施設	27		38		11		40.7	19.2
接 客 娛 楽 業	36		36		0		±0	18.2
ゴルフ場	11		13		2		18.2	6.6
旅館業	3		2		-1		-33.3	1.0
清 掃 ・ と 畜 業	8		19		11		137.5	9.6
ビル清掃	2		6		4		200.0	3.0
そ の 他 の 事 業	20		15	1	-5	1	-25.0	7.6
警 備 業	5		1		-4		-80.0	0.5
派 遣 業	1		1		0		±0	0.5
合 計	178	1	198	1	20	0	11.2	100.0

- (注) 1. 休業4日以上労働者死傷病報告による労働災害集計分
 2. 死亡者数は内数
 3. 派遣業は合計件数には含まない。

令和5年 監督署別・業種別 労働災害発生状況(新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を除く)

令和5年9月末現在

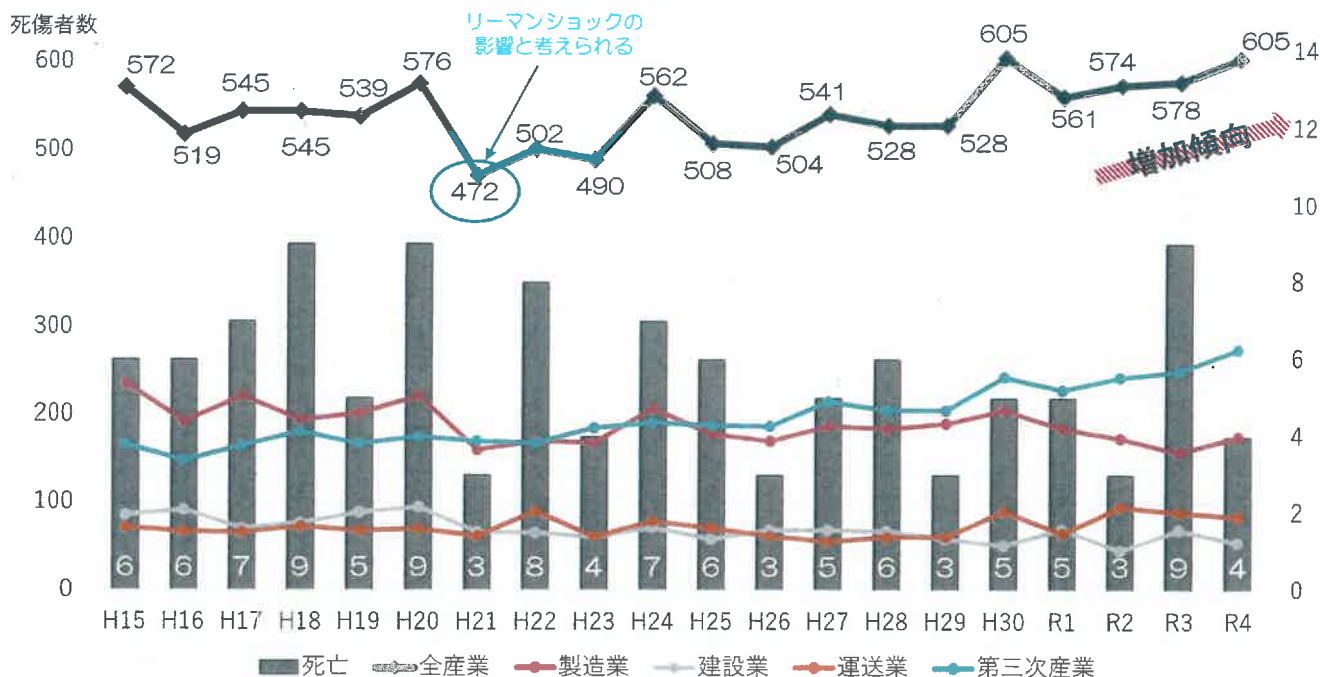
栃木労働局

区分	栃木労働局			宇都宮	足利			栃木			鹿沼			大田原			日光			真岡		
	令和4年	令和5年	増減数		比率	令和4年	令和5年	増減数	令和4年	令和5年	増減数	令和4年	令和5年	増減数	令和4年	令和5年	増減数	令和4年	令和5年	増減数	令和4年	令和5年
全産業計	12	10	-2	100.0	3	3	±0	4	3	-1	3	-3	1	2	1	1	68	79	11	101	137	36
製造業計	1,355	1,486	131	9.7	409	386	-23	402	473	71	84	109	25	213	208	-5	68	79	11	101	137	36
食料	2	2	±0	26.5	67	76	9	123	152	29	24	40	16	41	37	-4	20	11	-9	26	50	24
繊維工業	88	106	18	20.5	24	34	10	25	40	15	3	7	4	11	10	-1	7	4	-3	5	6	1
木材・木製品	4	8	4	100.0	1	1	±0	1	3	2				2	2					2	1	-1
家具・装備品	24	26	2	8.3	5	7	2	1	7	2	5	4	-1	6	3	-3	1	1	±0	2	3	1
化学工業	1	1	-1	3.5	7	6	-1	13	20	7	3	7	4	4	7	3	1	1	-1	2	8	6
窯業土石製品	32	52	20	62.5	1	1	±0	1	1	±0	1	1	±0	1	1	±0	1	1	±0	1	1	±0
窯業土石製品	1	1	±0	1.1	2	2	±0	2	2	±0	2	2	±0	2	2	±0	2	2	±0	2	2	±0
窯業土石製品	22	16	-6	-27.3	2	2	±0	2	2	±0	2	2	±0	2	2	±0	2	2	±0	2	2	±0
金属製品	57	78	21	36.8	5	8	3	24	33	9	8	11	3	6	5	-1	6	5	-1	5	10	5
一般機械器具	17	21	4	23.5	2	7	5	2	10	6	-4	2	2	2	2	-3						2
電気機械器具	13	11	-2	-15.4	2	2	±0	1	6	8	2			2	2	-2	2	2	-2	1	1	-1
輸送用機械等	25	35	10	40.0	2	4	2	16	13	-3	1	-1	1	2	1	2	2	2	-2	2	12	10
上記以外の製造業	43	41	-2	-4.7	18	7	-11	11	14	3	3	7	4	5	2	-3				1	4	6
土石採取業・鉱業	7	10	3	42.9	1	1	±0	4	8	4	2	-2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
建設業計	5	5	±0	9.2	2	2	±0	2	2	±0	2	2	±0	2	2	±0	2	2	±0	2	2	±0
土木工事業	144	137	-7	-4.9	43	41	-2	38	38	±0	10	6	-4	20	24	4	12	7	-5	15	17	2
土木工事業	4	4	±0	2.0	1	1	±0	1	1	±0	1	1	±0	1	1	±0	1	1	±0	1	1	±0
土木工事業	46	30	-16	-34.8	13	6	-7	10	12	2	4	2	-2	7	4	-3	3	1	-2	7	5	-2
土木工事業	1	1	±0	4.8	1	1	±0	1	1	±0	1	1	±0	1	1	±0	1	1	±0	1	1	±0
土木工事業	63	71	8	12.7	23	18	-5	17	19	2	2	3	1	9	14	5	2	6	4	6	8	2
(うち水道家庭工事業)	6	23	17	283.3	1	3	2	1	3	1	4	3	1	1	5	4	3	3	3	2	4	2
その他の建設業	35	36	1	2.9	7	17	10	11	7	-4	4	1	-3	4	6	2	7	7	-7	2	4	2
鉄道・道路旅客運送業	10	11	1	10.0	4	5	1	3	2	-1	3	3	3	2	2	-2	1	1	±0			
道路貨物運送業	3	4	1	6.1	1	1	±0	2	1	-1	1	1	1	1	1	±0	1	1	±0	1	1	±0
陸上貨物取扱業	179	190	11	6.1	56	44	-12	52	65	13	16	20	4	16	23	7	3	4	1	21	22	1
林業	17	17	±0	±0.0	4	6	2	1	1	±0	2	3	1	5	2	-3	3	2	-1	1	1	±0
農・畜・水産業	32	42	10	31.3	3	5	2	3	8	5	1	2	1	14	19	5	1	4	3	9	3	-6
第三次産業計	2	4	2	46.1	231	208	-23	178	199	21	29	35	6	115	103	-12	28	49	21	29	44	15
小売業	1	2	1	11.6	62	47	-15	5	49	47	-2	8	12	4	35	36	1	8	9	1	6	9
社会福祉施設	107	109	2	1.9	38	30	-8	10	13	3	7	7	±0	14	8	-6	7	8	1	4	5	1
飲食店	48	58	10	20.8	17	20	3	18	18	±0	1	3	2	8	8	±0	1	4	3	2	3	1

上段：速報による死亡災害で内数
下段：労働者死傷病報告による休業4日以上の災害

栃木署における過去20年の労働災害推移

死亡者数 16



- ▶ 栃木署管内における労働災害の推移である。以前は年間540件前後を推移していたが、近年では580件前後を推移し、しかも増加傾向が懸念される。
- ▶ 長期的に見ると、社会福祉施設や小売業といった第三次産業の労働災害が増加しており、平成25年以降、構成比率が第1位となっている。
- ▶ 一方で、短期的（R4～5年）では**製造業**の増加が目立つ状況にある。

1

栃木署における労働災害発生状況

【註】災害発生状況は、前年同期のコロナ感染状況の影響を受ける等から全数と「コロナ除く」の両方の値を記載する。

令和4年
【確定値】

	令和3年		令和4年		増減数		増減率 (%)	
	コロナ除く	コロナ除く	コロナ除く	コロナ除く	コロナ除く	コロナ除く	コロナ除く	コロナ除く
全産業	622	578	906	605	+284	+27	+45.7	+4.7
製造業	167	157	175	175	+8	+18	+4.8	+11.5
建設業	70	69	62	55	-8	-14	-11.4	-20.3
交通・運送・荷物取扱業	90	90	89	89	-1	-1	-1.1	-1.1
農林水産業	8	8	5	5	-3	-3	-37.5	-37.5
第三次産業	282	249	568	274	+286	+25	+101.4	+10.0

令和5年9月末
【速報値】

	令和4年9月		令和5年9月		増減数		増減率 (%)	
	コロナ除く	コロナ除く	コロナ除く	コロナ除く	コロナ除く	コロナ除く	コロナ除く	コロナ除く
全産業	545	402	532	472	-13	+70	-2.4	+17.4
製造業	123	123	164	152	+41	+29	+33.3	+23.6
建設業	44	38	38	38	-6	±0	-13.6	±0
交通・運送・荷物取扱業	55	55	67	67	+12	+12	+21.8	+21.8
農林水産業	4	4	9	9	+5	+5	+125.0	+125.0
第三次産業	315	178	246	198	-69	+20	-21.9	+11.2

令和5年における労働災害傾向

令和5年において、増加傾向にある業種は、『製造業』・『道路貨物運送・貨物取扱業』・『社会福祉施設』である。

また、製造業のうち特に増加が目立つ業種は、『金属製品製造業』・『食料品製造業』・『化学工業』である。

令和5年における、全産業および製造業の代表的な「事故の型」は右グラフのとおりで、

全産業では、「転倒」・「墜落」・「はさまれ」の順

製造業では、「はさまれ」・「転倒」・「動作」の順

となっており、過去の傾向から大きく変わってはいない。

製造業における労働災害の起因物は、

- ① 「はさまれ」災害では『一般動力機械』や『動力運搬機』（フォークリフトやコンベヤー）
- ② 「転倒」災害では『通路』や『作業床』
- ③ 「墜落」災害では『階段』や『はしご』

が目立つ状況にある。

令和5年に発生した製造業における労働災害を全数分析したところ、

約30%に「ルール違反」

約70%に「ヒューマンエラー」

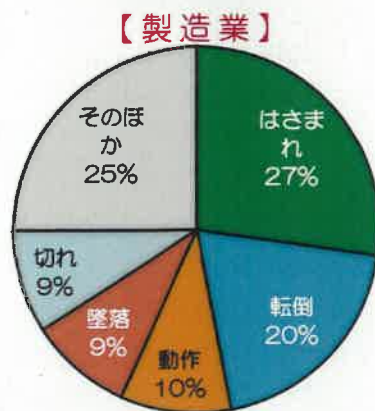
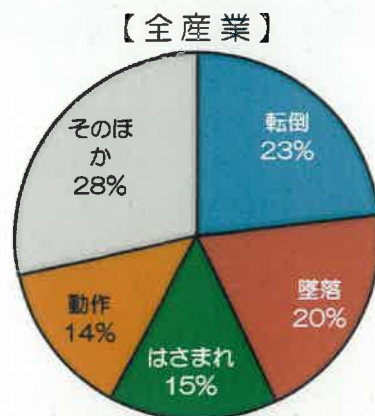
約55%に「設備・環境の問題」

が認められた。

ここで言う「ルール違反」とは、法令の規定のみならず、会社で定めるルールに反するものも含まれ、発生状況から推察したものも含まれている。

「ヒューマンエラー」・「設備環境の問題」についても、発生状況から幅広く含めてい

3



令和5年において労働災害が増加している要因について考えられること（特に製造業）

労働災害の減少のためには、

- 事業者の自主的な安全衛生活動の推進
- 安全衛生活動を継続して行う
- 安全衛生活動における充実したコミュニケーション

が重要であると考えられる。

一方で、労働災害防止計画が5年スパンで計画されているように、活動の成果が表れるのは、一定の期間が必要である。

また、従前より、特に製造業を中心に、自主的な安全衛生活動が行われていたところ…

令和2年からの新型コロナウイルス感染症の蔓延により、「人が集まる」=社会悪との風潮が趨勢であった。

各企業における社内の活動や災害防止団体の活動を行うことが現実的に困難になり、コミュニケーションが希薄に…

今まで通りの安全衛生活動が行えなかった中、令和5年よりウィズコロナのもと経済活動が元に戻ったものの、コロナ禍における安全衛生活動の停滞による影響が表れている、などが考えられる。

令和5年度において栃木署で実施している取組

新型コロナウイルス感染症の災禍からの脱却、経済活動の復活に伴い、それに相関して労働災害が増加することが考えられたことから、



栃木労働基準監督署管内「S+S運動」

「持続可能な安全作業」推進運動

Sustainable & Safetywork



小リスちゃんS

を令和5年5月にキックオフ！

コロナ禍における安全衛生活動の停滞からの復活

バイオレーション（ルール違反）排除の徹底
無災害の継続・優良事業場に対する報奨
「S+S運動」推進ポスター、啓発用品の作成

法令・マニュアル等 ルール遵守の徹底により
ひとりひとり、かけがえのない命を守る

持続可能な安全作業のため



特に製造業において、「はさまれ・巻き込まれ」災害が増加し、重篤な災害も発生したことから、
非定常時の作業におけるルール遵守の再徹底についてリーフレットを作成し、周知啓発を行った。
(定修工事が多く行われる盆の時期に向けて啓発)

⇒ 更に第3弾リーフレットを发出

(第二弾リーフレット)





栃木労働基準監督署長

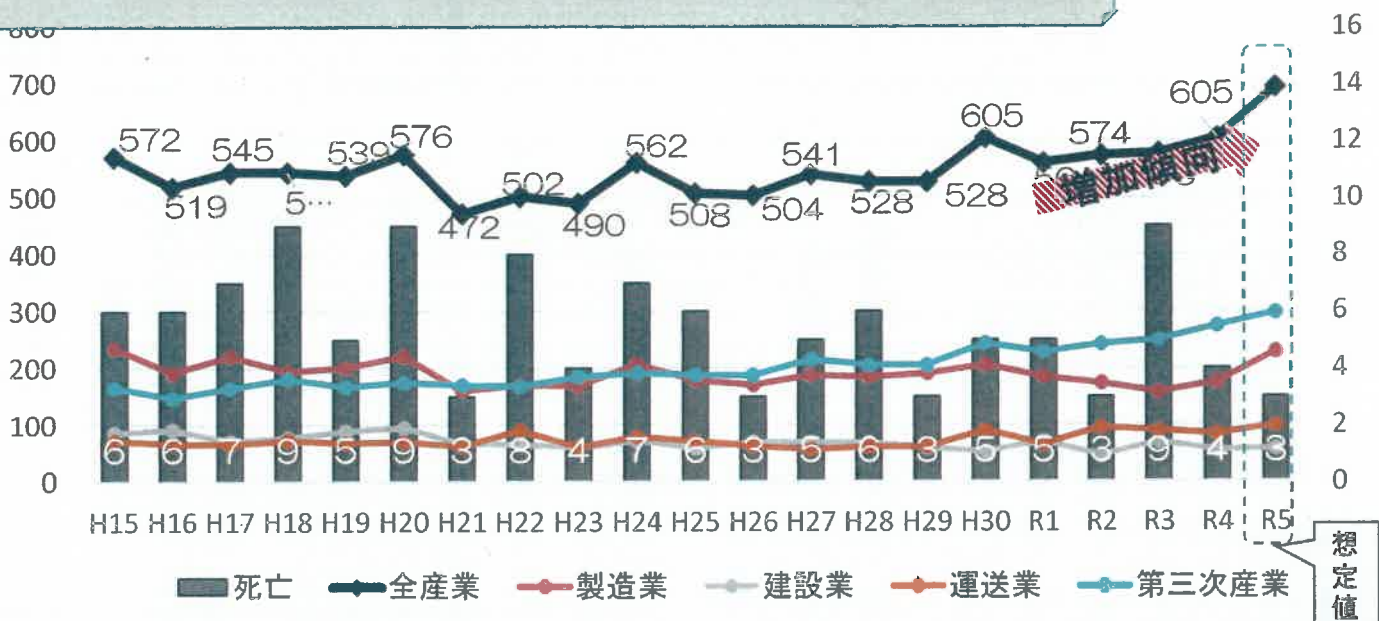
参考

労働災害発生状況・緊急レポート《概要》

労働災害の現状

栃木労働基準監督署管内における令和5年9月末現在における休業4日以上
の死傷者数は**472人**と前年同期比で**70人、17.4%**と大幅に増加しており、
死亡者数は昨年と同数の3人ですが、労働災害増加傾向に歯止めがかからない
い、大変憂慮すべき状況にあります。

全産業における過去20年の災害件数推移【栃木監督署管内】



詳しくは「…緊急レポート」本編をご覧ください。
【事態を受け】更なる推進を期して、次の取組を追加します

任意です

労働災害撲滅に向け、3つの撲滅指標を設定し⇒「撲滅シール」等により周知願います

- 一般的な**3つの撲滅指標**は、「墜落」「転倒」「はさまれ・巻き込まれ」災害の防止ですが、基本的な安全ルールや、作業標準遵守、法令遵守の内容等、設定についてはそれぞれ御検討願います。
- あせる・あわてる・あなどる等の不安全行動防止も可です。

撲滅シール等により、効果的な労働災害防止活動をさらに推進し災害撲滅が図られるよう、御検討よろしくお願いたします。（裏面に作成例）

撲滅シール等の作成例（素材A～C+指標枠）

（素材A）



Sノトリさん

Sustainable & Safetywork Promotion



小リスちゃんS

（素材B）

栃木労働基準監督署管内



S + S 運動

～ 第14次防が始動！ 労働災害撲滅に向け、基本ルールの再徹底を！～

（素材C）

➤ 大成建設(株)関東支店様の事例

栃木労働基準監督署管内



S + S 運動

～ 第14次防が始動！ 労働災害撲滅に向け、基本ルールの再徹底を！～

素材部分

指標部分



👉 の上記の3パターンの素材のうち一つと…

👉 の指標枠を組み合わせ ⇒ 市販のステッカー用紙等を使い完成

【例】



（指標枠・縦型）

（指標1）

（指標2）

（指標3）



墜落・転落ゼロ

転倒ゼロ

挟まれ・巻き込まれゼロ

（素材集リンク先のURLと【QRコード】）

（指標枠・横型）

（指標1）

（指標2）

（指標3）